

みんなの広場



子どもが主人公！ 楽しく、学びがいのある学校

今回は、稲井小学校を紹介します。

稲井小学校

稲井小学校は、市中心部から北側に位置し、東は京が森、北と西には上品山があり校舎周辺には一面水田地帯が広がっています。

5月1日時点では13学級、児童数340人で、昭和56年4月に、それまで稲井地区に4校（大瓜小、稲井小、真野小、金山小）あった小学校が統合され、現在の稲井小学校として開校しました。統合の影響により、学区が広範囲に及びスクールバスによる通学者が全体の3割を占めています。

学習面では、毎年真野川に飛来する白鳥の観察や花の栽培など、学区の豊かな自然を活用しながら子どもや地域社会の特性を生かした教育活動を実施し、活気に満ち開かれた特色ある学校づくりに努めています。

稲井小学校ならではの取り組みの一つに、「バス通学者の下校指導」があります。これは、子ども達の安全を確保する目的で行われているもので、指導者自身が実際に下校バスに乗車し、バスの乗り降りや車中でのマナーなどを指導するものです。これにより子ども達への常識あるマナーの向上はもちろん、保護者の不安解消にも一役買っています。ほかに



も、学習の定着が不十分な子どもを対象に課外に週2回の補充時間を設け、基礎学力の定着に取り組みむなど教職員が一丸となって、子ども達一人ひとりを主人公にした教育活動を展開しています。今日も帰りのバスの中は、楽しい授業を終えた元気な主人公たちの笑顔でいっぱいでした。

にぎやか家族 ②

谷川浜祝浜



(写真左から)

渥美雄 葵くん (9歳)
雄 斐くん (10歳)
楓 ちゃん (7歳)

《将来の夢》

消防士
漁師
調理師

お母さんから

喧嘩するほど仲が良いの言葉どおりに、毎日がまさに「にぎやか家族」です。

親としては元気に兄妹仲良く育ててくれることが何よりです。

今月の表紙から

今月は、牡鹿地区のアナゴを紹介しましょう。

アナゴは地元ではハモとも呼ばれています。全国的には江戸前のテンブラやアナゴ井・寿司などが有名です。上品な白身で、低カロリーながらビタミン・ミネラルが豊富で夏の食材として最高のもののひとつで、産地は仙台湾・東京湾・三河湾・瀬戸内海が有名です。

牡鹿地区表浜(小淵浜・給分浜・大原浜・小網倉浜)では、5〜6月ごろから12月までが漁期で、今が最盛期です。表浜漁協は県内の漁獲量の半分以上を水揚げしています。

午後3時過ぎに出港し、漁場に「ハモ胴」と呼ばれる餌を入れた筒を沈めアナゴが入ったころ(深夜)に引き揚げます。

捕ったアナゴは生簀に入れておき、三日ごとに行われる入札に出します。

今回は小淵浜の阿部幸弘さんに生簀まで連れて行ってもらいました。表浜のアナゴは、大きく肉厚で、東京などでも評価は高いそうです。

最近では中国や朝鮮半島産のものもありますが、やはり地元獲れたての食材は、味がまったく違います。皆さんもぜひ地元産のアナゴを召し上がってください。



阿部 幸弘 さん

サークル間 仲なかま

②②

気分はもうフラガール

フラガールズ

今月は、北上地区のフラダンスサークル「フラガールズ」の皆さんを紹介します。

ハワイアンの心地よく美しい癒しのメロディが静かに流れる・・・パウスカードとレイをまとい、ゆったりとした動きで踊る。曲は「ブルーハワイ」。

「フラガールズ」は、平成17年に北上公民館の社会教育事業の一環として始まり、現在11名のメンバーで毎週金曜日に北上公民館で練習をしています。

昔、ハワイでコミュニケーションの手段として独自の手話と踊りで表現していたものが、フラダンスの原形のようなものです。

「ひとつひとつに意味があるのよ。花・風・香り・太陽・星・・・イメージをして丁寧に踊りましょうね」自分の中から湧き出る感情を体全てで表現することなのよ」と先生の言葉に、何度も曲は流れて・・・。

裸足になって足を開放すると、自然に溶け込むような気持ちになり、心にも体にも優しく、シンプルながらも奥深さが



あるダンスです。

有酸素運動で、激しい運動ではないので、子どもからお年寄りまで誰でも気軽に始められるそうです。

練習は、和気あいあい、更年期障害が緩和されたり、ストレス解消になったという人もいます。実際、血圧が下がり、中性脂肪が減るという効果もあり、映画「フラガール」を観て以来、すっかりフラダンスに夢中になっているそうです。

先月は、みんなで福島県の「スパリゾートハワイアンズ」に行き、いつかは、本場のハワイで踊ってみたいと夢は膨み、「フラダンス最高」と話していました。花を飾り、南国の衣裳を身に付け、楽しく踊りながら健康になれるのがフラダンスの魅力だそうです。

秋に開催される「にっこりまつり」での披露を目標に、この日も練習に熱が入っていました。



長寿のひけつ

①⑨

歌うことがとても楽しさ

吉田 カメノさん(桃生町中津山) 100歳

今月は、6月に100歳を迎えた吉田カメノさんをご紹介します。



最近までは、家族のセーターなどを編んだり、毎日1時間の散歩を日課としていましたが、今は、デイサービス施設に通い、童謡や民謡などを歌うことがとても楽しみにしています。

好きなことは、お風呂に入ることで、入浴のときは必ずタワシで体をマッサージしているとのこと、好物はお餅と甘いもの、あと煎じた薬草が好きでよく飲んでるのだそうです。

好きなことを続けていくことで、そこに、健康の秘訣がありそうです。

桃生町中津山にお住まいの吉田カメノさんは、明治40年に10人兄弟の次女として生まれました。尋常小学校卒業後は、習い事をしながら農作業を手伝っていました。昭和16年に結婚し、10人の子どもに恵まれ、子育てと養蚕、家事全般を担い、夫が農協の理事をしていた関係で地域の婦人部活動にも積極的に参加していました。